

10/20
新聞

議会に意見集約要請

美浜3号再稼働判断で町長

関西電力が40年の運転

期間を超えて再稼働を目指す美浜原発3号機について、美浜町の戸嶋秀樹町長は19日に開かれた町会臨時会で、地元同意判断に向けた意見集約を議会に要請した。町主催の住民説明会を31日に開き、国から40年超運転の安全性や必要性について説明を受け

る。

臨時会には再稼働を求める請願2件が提出されたが、継続審査となった。臨時会前にあった議会運営委

員会で「じっくり議論する必要がある」「反対意見の請願を受ける時間も必要」などの意見が出ていた。

請願は県原子力平和利用協議会美浜支部と、町区長会や商工会など6団体による2件が提出された。

今後は、原子力対策特別委員会が現地視察を行うな

どして、臨時会や12月定例会で再稼働の是非を判断するとみられる。竹仲良廣議長は記者団に「多くの人が注目している。焦らず議論したい」と話した。

美浜3号機の再稼働を巡っては、経済産業省資源エネルギー庁の小澤典明首席エネルギー・地域政策統括調整官が16日、戸嶋町長と面談し、協力要請した。

(北川龍次)

31日に住民説明会

関西電力美浜原発3号機の再稼働を巡り31日に開かれる住民説明会には、原子力規制庁や資源エネルギー庁などの担当者らが出席する。美浜町民対象で先着200人。問い合わせは町エネルギー政策課☎0770(32)6716。